

1. 適用範囲

本要領書は、NTシリーズコネクタの結線作業方法について推奨する。

アッセンブリメーカーで確立した方法があればこの限りでない。

NANABOSHI PDF DATA

# 御 参 考 用

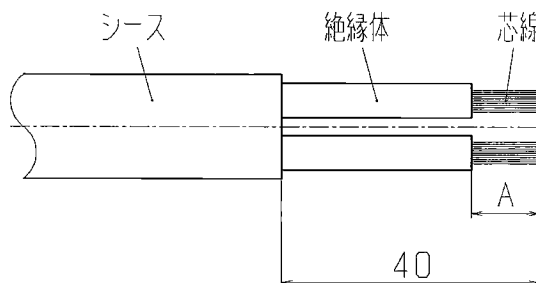
2. ケーブル端末処理

2. 1 ケーブル端末処理寸法

ケーブル端末のシース及び絶縁体の剥き寸法は下表を目安とし  
ナイフ等任意の方法で剥く。レセプタクル等バラ線使用の場合は、  
A寸法を目安とする。

(注) 芯線や絶縁体に傷を付けないこと。

シース剥き寸法の目安 40 (mm)  
絶縁体剥き寸法の目安 A (mm)



表

コネクタ名		A (mm)	電線導体断面積 (mm <sup>2</sup> )
NT-504	-PF , -PM -LPF , -LPM -SPF , -SPM	10	8
NT-5010		8	3.5
NT-5012			2
NT-5015			

2. 2 予備はんだ

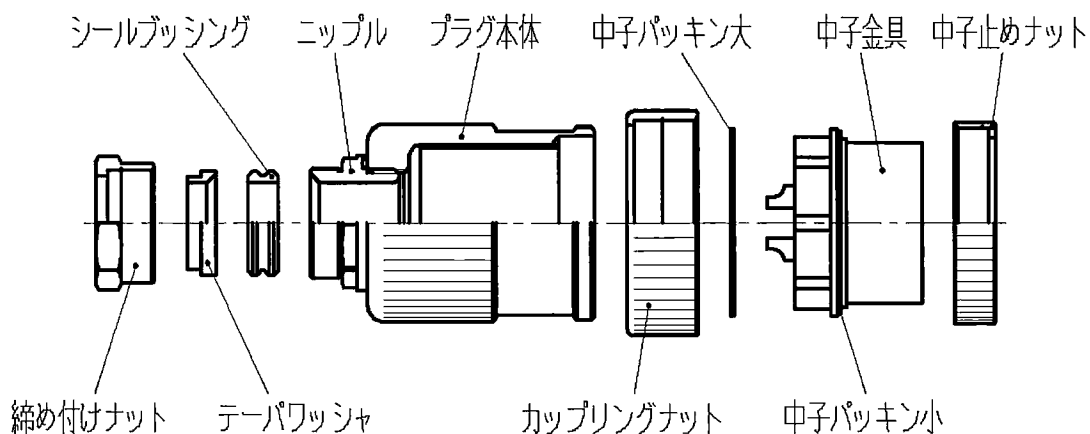
被覆を剥いた部分に、予備はんだを施す。

(注) 予備はんだはケーブルの被覆部までしないこと。又、仕上り状態は、コンタクトの孔径より小さく、全体にムラのないこと。

変更記事							承認	調査	起草
							S.S.	佐藤	齊藤
	△	2018.1.31	ニツプル参考締め付けトルクの下限值廃止	S.S.	佐藤	伊藤			
記号	日付	内容	承認	査閲	作成	2013.5.16	2013.5.14	2013.5.7	

## 3. コネクタの分解

## 3. 1 プラグの分解



(1) 中子止めナットを時計方向に回し、中子金具をプラグ本体より外す。

(注) 中子止めナットは左ねじになっており、時計方向に回すと緩む。

(注) 中子パッキン小は、中子金具に接着されているので無理に剥がさないこと。

(注) 分解後、パッキン類やその他の部品などに大きな傷や割れが無いことを確認すること。

(注) 個々の部品を紛失しないよう注意すること。

(2) 締め付けナットを緩め、テーパーワッシャ、シールブッシングを外す。

NANABOSHI PDF DATA

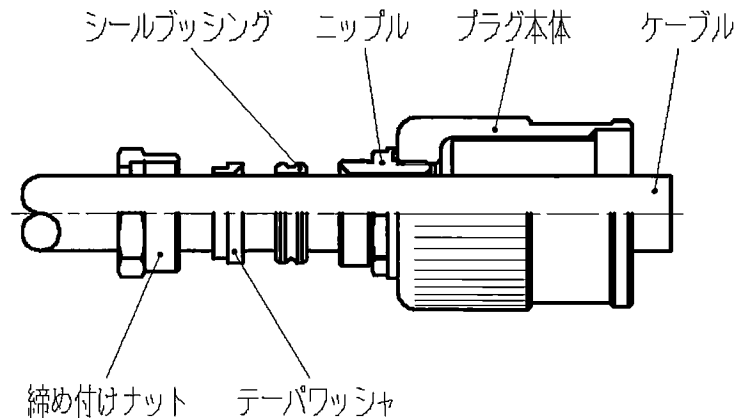
御 参 考 用

## 3. 2 レセプタクル

レセプタクルは分解せず、そのまま結線する。

## 4. 予備装着

分解した各部品を下記の順に、あらかじめケーブルに通す。



(注) この時、各部品の順番や向きを間違えないこと。

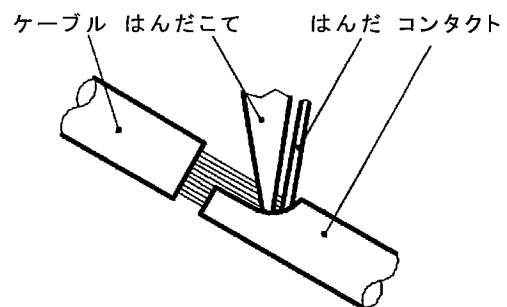
## 5. はんだ付け作業

(注) はんだ付け作業はシェルに、絶縁体、コンタクトが組み込まれた状態で行うこと。

- (1) コンタクトの溶剤ポットに、予備はんだを施したケーブル導体を奥まで一杯に差込み、導体と溶剤ポット双方にあたる様にはんだこてで加熱する。
- (2) 導体とはんだこての接触部にはんだを当て、溶かしながら導体と溶剤ポットの隙間が完全に埋まるまで流し込む。

(注) 使用はんだこて等の作業条件は、別紙表-1を参考にする事。  
はんだ付け作業は15秒以下で行い、連続的な加熱は避けること。

こて先で加熱しながら、  
はんだを溶かし供給する。



NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

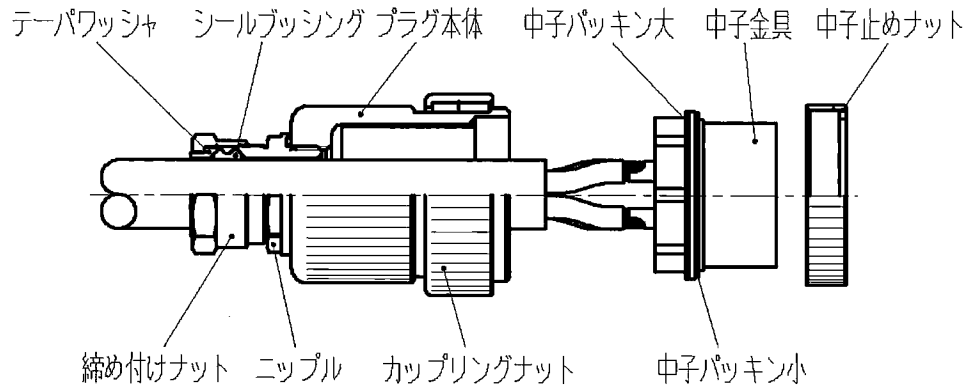
(注) はんだの盛り過ぎによるはみ出し、過熱、フラックスの流れ等による絶縁体の劣化や耐電圧不良がおこらない様にする事。

- (3) はんだ付け完了後、1分以上放置し、エタノールなどではんだ付け部を洗浄して、フラックスを完全に除去する。

## 6. コネクタの組立

(注) 組立前に、パッキン類やその他の部品などに大きな傷や割れが無いことを確認すること。

## 6. 1 プラグの組立



- (1) 中子パッキン大を装着した中子金具をプラグ本体にセットし、中子止めナットを締め付ける（反時計方向に回す）。
- (2) ニップルをプラグ本体に締め付ける。
- (3) シールブッシング、テーパーワッシャーとともに締め付けナットをニップルに締め付ける。

(各部分の参考締め付けトルクは別紙表-2参照)

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

表-1 NTシリーズ 使用はんだごてとこて先温度

はんだごて ワット数	こて先温度 (°C)	導体断面積 (mm <sup>2</sup> )		
		2	3.5	8
30W	350~370	○		
60W	370~400		○	
80~150W				○

○：使用可能ワット数

注1. 鉛フリーはんだ使用時のこて先温度は上記温度+20°Cを目安にすること。

(例) Sn 96.5 , Ag 3 , Cu 0.5 (wt%)の鉛フリーはんだの場合

注2. 連続的な加熱は15秒以下にすること。

表-2 参考締め付けトルク

品名	中子止めナット	ニップル	締め付けナット
	— 中子金具	— プラグ本体	— ニップル
△ NT-50	3.0~3.5N・m	3.0~3.5N・m	2.0N・m

△ 上記数値は、あくまで参考値です。(ご使用の条件によっては、仕様の防水性能を確保できない場合があります)

NANABOSHI PDF DATA

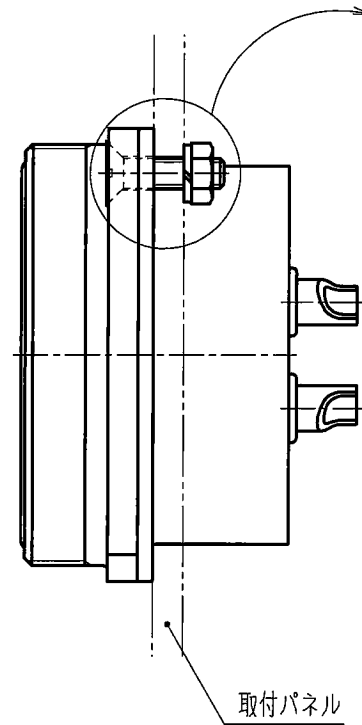
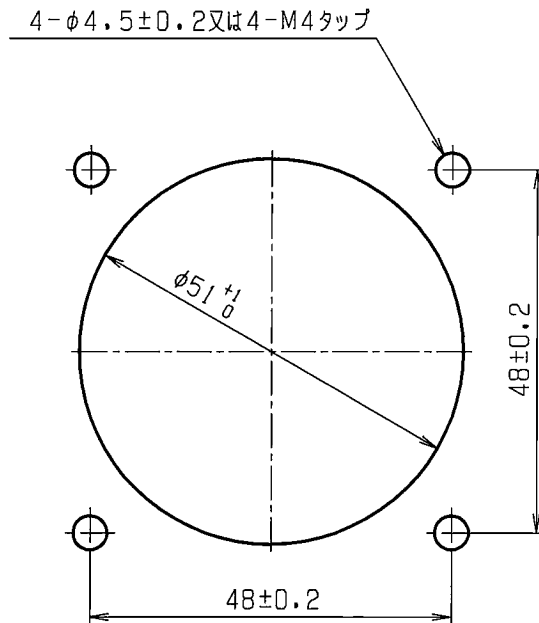
御 参 考 用

# レセプタクル取付注意事項（NTシリーズ）

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

## 取付パネル穴あけ寸法



## 取付上の注意

防水性を確保するために、レセプタクルの取付部は下記のような処理をしてください。

1. 取付パネル厚が10mm以上ある場合は、直接パネルにタップを切り、取付パネル表面から裏側へねじ穴が貫通しないようにして御使用下さい。

2. 取付パネル厚が薄い場合は、市販のシールワッシャーを使うか、取付ナット部分を樹脂等でモールドして下さい。

※ 基本的にパネル内部は、防水性が確保されているものとします。

※ 取り付けねじの推奨トルクは $0.5 \sim 0.6$  (N・m) です。

※ 全てのねじは均等に締めて下さい。